



防災おかやま

【発行】日本防災士会岡山県支部
 【発行所】岡山県支部事務局
 Mail: bousaisaikai.okayama@gmail.com



【7月の活動】

3 日(木)WEB 役員会
 27 日(日)支部研修会
 (HUG 講習会)
 27 日(日)全国支部長
 会議(WEB 開催)

【研修会等予定】

研修内容
 防災教室(災害時の
 薬の管理やトイレ
 等) = 公開講座
日時
 8 月 18 日(月)
 19:00~20:00
場所
 河辺公民館
講師
 藤本浩之(薬剤師)
**※詳細は中塚美作担
 当幹事まで**

研修内容
 スタンプラリー研修
 会
日時
 10 月 5 日(日)
 9:30~11:30
場所
 ゆうあいセンター研
 修室
講師
 加藤誠(防災士)
**※詳細は中司備前担
 当幹事まで**

備前 HUG 講習会を開催

七月二十六日

(日)、ゆうあいセン
 ターにおいて、備前
 エリアが中心となっ
 て企画した「避難所
 運営ゲーム(HUG)
 講習会」が開催され
 た。支部所属の村上
 防災士により、今後、
 支部会員が HUG 研
 修の講師として活動
 できるように指導を
 受けた。



講習会の様子

HUG 研修を行う
 ためには、事前にそ
 の地域の避難所運営
 マニュアルを理解し
 てそのマニュアルに
 沿った HUG の展開
 ができるようにする

G 研修を行うのかを
 考え、次(課題検討
 等)に繋がるように
 しなければならい

いう説明などがなさ
 れた。
 また、「防災士」は
 「土」業であり、そ
 れだけ自覚・責任を
 持つて活動をしなけ
 ればならないという
 言葉もあった。
 参加者からは、「と
 ても勉強になった。」
 等の声があり、有意
 義な研修となった。

西日本豪雨から七年

平成三十年七月豪雨(西日本豪雨)から
 七年が経過した。岡山県内でも、岡山市東
 区、同市北区等でも破堤による浸水害が発
 生し、特に被害が大きかった小田川流域
 (倉敷市)では、五メートルを超える浸水
 により、五十人を超える死者がでた。現地
 では、決壊した高馬川との合流点には、新
 たな防災拠点として「まびふれあい公園」
 が整備され、高梁川との合流点の付替工事
 が完了する等、ハード面の整備は一応の区
 切りがついたとされている。

現地では、発災以前から小田川の堤防高
 と同じ約五メートルの場所にオレンジラ
 インを引き、警戒指標とされていたが、新

本会総会・支部長会議報告

6 月 28 日(土)に日本防災士会総会に
 出席しました。事業報告及び決算報告、
 新年度事業計画や予算についても、
 諸々指摘がありましたが賛成多数にて
 承認されました。繰越金も多く、支部に
 対する支援や会員情報の共有など本会
 と支部がしっかりと連携できるよう声
 が多く上がりました。

7 月 27 日(日)全国支部長会議が WEB
 で開催され、各地区の事業報告や要望
 を共有しました。県支部としても南海
 トラフ地震を想定した他支部や中四国
 のエリア連携、本会からも共通備品の
 支給など要望をさせて頂きました。

支部長 坂本亮平



吉備真備町付近のオレンジ
 ライン(左)とブルーライン

近年の気象状況
 を示すブルーラインが
 引かれる等、被害を伝
 承する状況も見られ
 るようになってい
 る。
 近年の気象状況
 を考えると、このよ
 うな災害は、いつ、
 どこで起こっても
 不思議ではない。
 今年の梅雨は、県
 内は少雨傾向であ
 ったが、これから台
 風シーズンを迎え
 る。今年は南海上の
 海水温が高く、衰え
 ることなく日本付近
 に近付いてくること
 が予想される。つま
 り、風水害の発生が
 懸念される。
 私達は、過去の災
 害をきちんと検証し
 て、こうした次の災
 害への対応に実践と
 してつなげていくこ
 とが重要である。